科目番号	50002	分類	共通科目	履修者	看護科学コース （看護管理者プログラム）	学年
科目名	ヘルスケアシステム特論 （ Advanced Course in Health and Welfare Systems ）					1 配当セメスター 後期
担当者	○岸　恵美子　他２名	区分	選択	単位	2	時間数 30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 保健医療福祉分野において、看護職が果たすべき役割を理解するために保健医療福祉に係る制度及び政策決定プロセスについて基礎的な知識を深める。また、政策医療におけるネットワークの現状も理解し、実際的にどのようなシステム活用により連携が行われているのか、探索的に学び、理解を深める。 国民のニーズに沿う医療・看護の提供のための連携、ネットワークの必要性を理解する。具体的には、保健医療福祉におけるネットワークシステムを理解し、将来的に病病連携、看看連携、医療福祉連携など、新たなシステム構築に向けてのネットワークを創出できるようにする。 【目　標】 1．疾病と社会との関係について理解する。 2．社会保障全体の財政の構造を理解する。 3．国民のニーズに沿う医療・看護の提供のための連携、ネットワークの必要性を理解する。 4．政策医療におけるネットワークの理解を深める。 5．医療・看護における新たなネットワークを考える。 6．看護における情報管理、情報提供の在り方を考える。		1. 看護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力
		2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力
	○	4. ヒト・モノ・カネ・情報等のシステム的管理能力の向上
	○	5. 病院管理者の一員として管理能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1回 第2回 第3回 第4回	ガイダンス 日本の保険医療制度の特徴 保健医療サービスの現状と課題 日本の社会福祉政策の潮流（施設、在宅、地域福祉）	岸 他２名
第５回	社会福祉サービスの現状と課題	
第6回 第7回 第8回 第9回	社会保障はどこからきたのか 社会保障はどうこなしてきたのか 社会保障はどこに行くのか 病院の講師と国公立の独法化	
第１０回 第１１回 第１２回 第１３回 第１４回 第１５回	実践現場における保健医療福祉システムの課題（ワーク） 実践現場における保健医療福祉システムの課題（ワーク） 実践現場における保健医療福祉システムの課題（ワーク） 実践現場における保健医療福祉システムの課題（課題発表） 実践現場における保健医療福祉システムの課題（課題発表） 実践現場における保健医療福祉システムの課題（課題発表）	

事前・事後学習	事前学習：新聞等、様々な媒体を利用して、保健医療福祉の最近の動向をみておくこと。 事後学習：講義の配布資料を参考に、自ら関連のある文献等を探索すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	講義等への参画状況（10%）　課題レポート及びプレゼンテーション（90%） フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	随時参考資料を提示する。
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。